様式３（2020.06改）

作成日　令和　3 年2 月26日

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2372002309
事業所名	グループホーム　ふくろう

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：２）	評価
	自治会に加入し、自治会長、自治会会員、民生委員とは推進会議のメンバーとして協力関係を築いている。 利用者は散歩時に近隣住民と挨拶を交わしたり、施設職員が施設周辺の公道の清掃をして地域貢献に努める等、地域の一員として認知され根付いている。 住民から入居相談があり、情報提供やアドバイス、包括と連携を図り相談にのっている。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：３）	評価
	推進会議は年6回定期的に開催し、包括職員、民生委員、自治会長、自治会会員、全家族の参加を得て、活発に意見交換する場として活用している。活動状況、ヒヤリハット、事故報告等、運営状況を周知し、事業運営の理解を深めている。介護保険制度についての説明を行う等、認知症専門施設としての役割を果たしている。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：４）	評価
	市窓口とは、日頃より密に連携を図り良好な関係性を継続している。 広域連合の研修や会議の情報はインターネットで収集し、研修は開催されているものはすべて参加している。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：６）	評価
	意見箱を設置し、利用者や家族の意見要望を受け止める仕組みがありサービス向上に努めている 。毎月「ふくろう新聞」を発行し、イベントや日常の様子を写真で伝え、家族の安心に繋げている。 全家族が推進会議に参加し、会議時の食事会や茶話会で家族との親睦を深め、協働関係が築かれている。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総　合　評　価		○

１．外部評価軽減要件

①　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」及び「２　目標達成計画」を市町村に提出していること。

②　運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されていること。

③　運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

④　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の２、３、４、６の実践状況（外部評価）が適切であること。

２．外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確　認　事　項
２．事業所と地域のつきあい	（例示） ①　自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、 消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ②　地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
３．運営推進会議を活かした取り組み	（例示） ①　運営基準第８５条の規定どおりに運用されている。 ②　運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
４．市町村との連携	（例示） ①　運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ②　市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
６．運営に関する利用者、家族等意見の反映	（例示） ①　家族会を定期的（年２回以上）に開催している。 ②　利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③　家族向けのホーム便り等が定期的（年２回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価	○	○	○	○	○	◎	○	○	○	◎	○
実施年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
総合評価	◎										